

和気地区タウンミーティング（要約）

テーマ：和気地区のまちづくりについて

令和6年5月29日（水曜日）

【市長】 皆さん、改めましてこんばんは。今日は平日の夜でございます。いろいろとお忙しかつたのではないかなと思いますけれども、お集まりをいただきましてありがとうございます。また、本日の開催に際しましては、和気公民館長さんをはじめ、地域の役員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。さて、松山市のタウンミーティングですが、私が市長に就任させていただいた当初から開催をしています。市長の任期の1期目は、松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町を合わせて、41地区に分かれますが、その41地区を市長1期目は2巡りさせていただきました。2期目からは、この地域別のタウンミーティングに加えまして、世代別のタウンミーティング、職業別のタウンミーティングをしています。世代別のタウンミーティングは、お若い方から言うと、まず、将来を担う高校生たちとのタウンミーティング、大学生専門学校の皆さんとのタウンミーティング、若手の社会人とのタウンミーティング、子育て真っ最中という方々とのタウンミーティング、そして、働き盛りの方々とのタウンミーティング、人生の先輩方に当たりますシルバー世代の方々とのタウンミーティングなどを開催しています。職業別のタウンミーティングは、農業を行っている方々に集まっていたり、商店街の方々に集まっていたり、コロナで経済が影響を受けている時には、経済の実態をよく知っている金融機関の方々に集まっていたりなどいたしました。3期目からは、広報タイムを設けています。これまで参加された皆さんから、松山市の取り組みを知ることができて良かった、そんなお声を多数いただきましたので、この意見交換の合間に、広報タイムを設けさせていただいて、まさに現地現場で業務に携わっている松山市の職員から、生活に役立つ情報をご紹介させていただいています。今日のタウンミーティングですが、通算137回目ということになります。皆さんからいただいたご意見は、できるだけこの場でお答えをして帰ります。また、中には、国と調整をしなければいけない、愛媛県と調整をしなければいけない、そういうものはいい加減な返事をして帰るわけにはまいりませんので、一旦持ち帰らせていただいて、1カ月を目処に必ず返事をするというのが、松山市のタウンミーティングの特徴でございます。今日は、これからの和気地区のまちづくりについて、有意義な意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

【男性】 駐車場の件なんですけれども、この和気の公民館には駐車場が狭いのしかありません。5台ぐらいしか停められない。狭い駐車場なので、ぎゅうぎゅう詰めにしますと、今度は出る時に方向転換ができませんので、バックで交通量の多い県道に出ないといけないという危険が結構大きいと思うんです。ここのすぐ裏に田んぼがありまして、そこが空地になっているわけですね。そこを買い取らなくてもいいので、借地契約とかしていただいて、

駐車場を手配していただくとありがたいなと思います。

【教育総務課長】 公民館の駐車場の整備についてなんですけれども、これは和気公民館だけではなくて、他の公民館からも多くご意見をいただいています。やはり先ほど借地契約とおっしゃいましたけれども、敷地の確保などの課題がございます。いくつかの公民館では、イベントなどを開催する際には、地域の協力を得て駐車場を確保しているという事例もございます。和気公民館でも多くの方が参加する時には、公民館駐車スペースが先ほど5台とおっしゃっていただきましたけれども、支所や近くの病院やJA松山市和気支所とお話して、臨時駐車場をお借りしているとお聞きしています。また、公民館を利用する地域の皆さんには、できるだけ乗り合わせや徒歩などでお越しいただくようお知らせをしてお伺いしています。なお、和気小学校内にある給食調理場跡地につきましては、現在、学校や和気の児童クラブの送迎に来る保護者の駐車場として利用させていただいています。公民館事業などで駐車場として利用したいというお考えがございましたら、また学校と協議していきたいと考えていますので、学習施設課にご相談いただけたらと思います。

【男性】 1点はですね、地震等の災害発生というのが最近危惧されていますけれども、そういった場合に、集会所を避難先として使用する場合があります。災害時における運用管理というのは、非常に重要な部分があると思います。ただ、そういう状況下になった時に、運用管理を担当する者は、おそらく町内会の役員、自主防災等々が主になって行うと思われまじけれども、ただ、こういう方々についての訓練なり、スキルアップを図るような対応というのはされていないのが現状ではないかなと認識しています。当然、起きるということを前提に、今、災害対策、危機管理等も松山市の方でもやっておられると思いますので、そういったことを含めて、いざとなった時に実務がスムーズにいくような訓練なり対応を、スキルアップを図るような施策をお願いしたいと思います。

【危機管理課長】 松山市では、大規模な災害が発生した際に、地域の皆さんにご協力いただきながら避難所の運営等を行うことから、防災士や町内会単位などで構成される自主防災組織の育成を進めています。昨年度からは、防災士の方がスキルアップをして地域の防災力を高めていただくために、愛媛大学と連携してフォローアッププログラムを始めさせていただきました。また、自主防災組織のリーダーの方には、研修や講演会などを案内するほか、今年度からは新しくリーダーになられた方向けの研修も開始する予定としています。和気地区では昨年度、連合会が地区全体の訓練を2回実施していただいたほか、各自主防災組織が集会所や公園などで訓練を実施するなど、地域防災に熱心に取り組んでいただいているところだと思います。研修や訓練を開催される場合は、段ボールベッドの貸し出しや講師の派遣もできますので、市民防災安全課もしくは中央消防署の城北支署にご相談いただけたら訓練できるかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 新たにフォローアップ研修というのを始めていますので、そこでまた高めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

【市長】 ちょっと防災のことについて、私から繋ぎで言わせていただけたらと思います。何か思い浮かぶことがあったら、また手を挙げて言っていただけたらと思います。昨日の雨も結構激しかったですね。今、气象台の方ともお話をするのですが、もう日本全体で、雨の降り方が極端になっているんです。私たちが子どもの頃は、日本は温帯気候ですよって習ったと思います。この瀬戸内海は、瀬戸内気候で穏やかなんですよって習ったと思うんですが、本当に今は、雨が降る時はものすごく降って、ゲリラ豪雨なんて言葉も出てきましたね。ものすごく降って、雨が降らない時は極端に何日も降らないんです。ものすごく極端な気候に変わってきました。亜熱帯になったんじゃないかなと思うぐらい、ものすごく降る時は降ります。地震のことも兼ねてなんですけど、皆さんには備えをお願いしたいと思います。もちろん松山市も行政としての備蓄はちゃんとしているのですが、坊っちゃんスタジアムのところに集中備蓄ですとか、熊本地震に支援に行った時に学んできましたけれど、やっぱり分散備蓄、各地区で分散して備蓄しておくのも大事だなということで、分散備蓄も進めています。私も1回経験があるのですが、東日本大震災の時に、私、東京に出張してまして、結局、松山に帰れないで、羽田空港のロビーで一夜を明かすという経験をさせていただきました。3時間、羽田空港の外のタクシー乗り場で待っていたんですけど、それだけの台数が来なくて、結局、羽田空港のロビーで寝たんですね。3階のお土産物売りのエスカレーターのそばで、ダンボールを敷いて体を横たえて、コートを掛けて寝ましたが、寝られるものじゃなかったです。余震も多かったですし、やっぱりロビーは硬いですからね。羽田空港は吹き抜けになっていて、上から見たら下の様子が見えるんですけど、毛布を配ったりとか、いろんなものを配っていたんですけど、外のタクシー乗り場で3時間待っていたので、もうなかなか並ぶ気にはなれなかったんです。どうぞ、お年寄りの方とか、小さいお子さんの方に差し上げて下さいという気持ちになりました。公が備蓄しているものをお配りする時には、どうしても公平性という観点から、並んでいただかなくてはならなくなります。皆さんのご家庭で備蓄をしていただけたら、好みのものが手に入る、並ばなくても手に入るということになります。もちろん行政でもしっかりと備えていくんですけども、やはり皆さんで備蓄をしていただくこともとても大切なことなので、並ばなくても手に入る、好みのものが手に入るということになります。しっかりと行政でも備蓄をしていきますけれども、皆さん方の備蓄もどうぞよろしく願いいたします。

【女性】 様々な和気地区の課題のご質問がございましたので、私の方からも、市長さんばかりに汗をかかすわけにはいかないの。今、課長さんが言われたごとく、和気地区では大声大会の訓練ですね。これは7月の海の日です。それから2月、和気ですから、みかんフェアと題しまして、皆さんとこちらの方で訓練をやらせていただきました。そして今年も、子どもを見守り育てる日ですかね。8月のその時には、こちらの大会議室2階におきまして、宿泊体験をしているんですけども、そこでも段ボールベッドを、こちらにおいでの方の何

人かお手伝いしてくれるんですけども、和気小学校の児童5年生6年生に訓練を受けていただいています。また、地域の分館単位で、先ほど発言された方は勝岡の分館長をされていましたが、勝岡町の方でも分館単位の防災訓練に取り組んでいただいているところですよ。本当に課長さんが言われましたように、和気地区、防災に向けてはかなりレベルが高く、訓練している中でございます。そこで、私の前の方が駐車場の件でご質問がありましたけれども、私の感覚では、裏の地権者とはお話しさせていただいているんですけども、駐車場という形も大変素晴らしいです。必要です。ですけども、これだけ和気地区で防災訓練などが向上している中で、裏の畑辺りで総合的な防災訓練をするようなこともできるのではなかろうかというような、密かな、大きな希望もありますので、またご検討していただけたらと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 公民館長さんには、いろいろと防災の取り組みですとか、お遍路さんへの取り組みですとか、様々な取り組みをしていただいていること、感謝申し上げます。先ほど言われた、こちら側の土地になるんですかね。その土地のことと、この間、私、和気小学校の入学式に来させていただいた時に、和気小学校のこちら側に土地がありまして、と言ったら皆さん分かるんですかね。こちら側にちょっと土地がありまして、そのことについて、ちょっと調べてまいりました。小学校の入学式に出席させていただいて、あの土地はどうされるんですかと聞かれましたので、お答えをさせていただきます。あそこの土地の地図、出ますかね。和気小学校のそばの場所、多分皆さん分かっていると思うのですが、一応、念のため。和気小学校がここですから、この辺になるんですかね。元々は和気学校給食共同調理場だったところで、建物が古くなったので、平成31年の3月末で廃止をさせていただいて、同じ年の8月に解体をさせていただきました。今、跡地はどうなっているのかというと、和気小学校や和気児童クラブの送迎に来られる保護者の皆さんの駐車場とするほか、子どもたちが授業の中で植物や生物を観察しているんだそうです。こうした中、私も帰ってみて、そうなんだなと思ったんですけど、もうすぐ、7月から来年の6月まで、12カ月になりますが、和気小学校の校舎を長持ちさせる改修工事が予定されています。あそこの場所は、資材置き場で活用させていただく予定ということです。将来的には、小学校の校舎を改築する際の建設候補地の一つとしても考えているということです。やっぱり工事をする場合に、資材、木材とかを置いておく場所が近くにあると助かるということで、工事中は先ほど申し上げた資材置き場などで使用する予定ということなのですが、今回の工事中は、現在と同じように利用することが難しくなるので、引き続き駐車場として使えるかどうか、学校と協議していきたいと考えています。地域の皆さんにはご不便などをおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。公民館運営などの中で、何かに利用したいというお考えがありましたら、資材を撤去した後、来年の7月以降の利用になりますが、学校と松山市と一緒に協議していきますので、ご相談をさせていただいたらと思います。先ほど言っていた土地のことも含め、どのような利用をさせていただいたらいいのか、今のイベントの時とかに、駐車場で言うと、病院さんのところをお借りしていたり、農協さんのところの駐車場を

お借りしているというのは知っています。そういった中で、どういう使い方をさせていただくのが良いのかを、また相談させていただいたらと思っています。

【女性】 防災訓練の話が出ましたので、ちょっと聞いてみたいのですけれども、和気に浄化センターがありますよね。ここは海が近いですから、和気の方はぐっと下がっていて、海よりずいぶん低いんですよね。そうすると、私たちは年に何回も防災訓練をしまして、勝岡神社の方にとりあえずは避難するというをやっているのですけれども、和気の1丁目2丁目の方たちは高いところがないんですよね。なので、あそこにタワーみたいな、避難タワーみたいなものができたら。皆、私を含めて年配の方が多いので、遠くへ逃げることはできないと思うんですよ。そうすると、そこにタワーでもあれば、緩やかならせん階段にしてもらって、ちょっと高いところに逃げられるんじゃないかな、助かるんじゃないかなという気がしているんです。普通の土地だと、いろいろ問題があると思うんですけど、あそこだったら、何かいい手立てがあるのではないかと思います。

【危機管理課長】 今、言われました浄水センター、あそこの話なんですけれども、今現在、松山市がこの和気地区、津波の際に避難場所として指定しているのが、この防災マップにも載っています。津波の際は、北中学校と太山寺分館と、ちょっと離れているのですが、聾学校在指定されています。松山市の場合、今現在の津波の到達は、一応、今の予想では3時間後と言われています。当然、松山市としては、そういった場合には、急いで避難所を開けることになろうかと思っています。防災拠点としての整備は、今後いろんなことを考えながら、また持ち帰らせていただけたらと思います。

【市長】 私の方から補足をさせていただきます。報道などで、南海トラフを震源とした地震と言われています。高知沖が震源地と想定された場合は、一番早く津波が到達するのが高知県の土佐清水市で、22分後の3.5mという想定になっています。皆さんもニュースなどで見られていると思いますけれども、高知県などでは、津波タワーを作っているところもあります。続いて、時間で言うと、30分後に高知県宿毛市で2.6mの津波で、このように回ってきます。愛南町で35分後に1.6.7mの津波、日振島で48分後に1.0.1mの津波、八幡浜の川之石の漁港で72分後、1時間12分後に9.1mの津波、伊予市の森海岸で3時間1分後に4.3mの津波、松山市に到達するのが199分後、3時間19分後に3.9mの津波ということになります。この3.9mも、満潮の時と干潮の時がありますよね。3.9mというのは、満潮、条件が最も悪い時を想定しています。条件が最も悪い満潮時の海面の高さ1.8mに、最も高い津波2.1mが加わって、3.9mという想定になります。ですので、3時間の時間がありますので、その中で、できるだけ逃げていただきたいと私たちは考えています。ここは和気浜海岸とか堀江の海岸がありますので、もう一つ、皆さんに知っていただきたいことが、実は、地震の揺れを感じたら、堤防を越えるほどではありませんが、ちょっと津波といいますか、波が来ます。これが、地震の揺れを感じたら、海辺には絶対近づかず、直ちに避難するようにお願いしていますというところなのですが、高さにして20

cm 程度の波が、6分ぐらいで来ると言われています。ですので、地震の揺れを感じたら、海辺には近づかないでくださいと申し上げています。揺れを感じて、もちろん小さい地震ではそうならないと思いますけれども、大きな地震などの場合は、揺れを感じたら20cm ぐらいの波が来るんだというのを覚えておいてください。地震の揺れを感じたら、海辺には絶対近づかず、直ちに避難するようにお願いします。これは、20cm なので堤防を越えるほどではありませんが、ということになります。南海トラフを震源とした地震は、津波が来る3時間後に、この高さということになりますので、逃げてくださいということになります。今ここで、ドーンと地震が来たら、何をしたいか分からなくなりますよね。そのために、松山市では、いつ、どこで、どうしておく、どこに避難しておく、家族で決めておくとか、そういうのを決めておいてほしいんですよ。これを決めておいていただくと、地震の時に慌てなくて、大きな災害の時に慌てなくてすみますので、ぜひとも、大きな災害の時に何をしておくかというのを決めておいていただいたらと思います。よろしくお願いします。

広報タイム①「家具転倒防止対策の必要性」

【女性】 防災のお話が出ましたけれども、ちょっと目先を変えまして、和気浜、ここは伊予十二景の一つとなっています。そして、そこで整備された中で、大声大会等々も毎年させていただいているんです。にぎたつ伝説もあります。「和気のみんなの自慢のものは、夏の和気浜、斎灘（いつきなだ）、にぎたつ伝説、潮を見て、月を待つかな、お〜君も、今は浪漫の歴史ぞな」という歌を作っているんですけれどもね。これは、661年、斉明天皇が朝鮮の方へ戦争に出る時に、諸説あるんですけれども、愛大の先生は、特に和気浜・堀江説が有力ではなかろうかと言われています。和気の人たちも、これはロマンの一つでございまして、私といたしましては、ここで斉明天皇が1カ月にわたりまして、出兵するために200隻の船を集めたというところが、和気・堀江海岸、斎灘（いつきなだ）ではなかろうかと強く信じている1人でございます。これはどうしてかと言いますと、波が外海と違って穏やかであるのではなかろうかということからでございます。そして、そういう穏やかな和気浜、また堀江海岸に、ぜひ水族館を。お話が道後の方でありましたけれども、ぜひですね、堀江の館長ともお話しているんですけれども、堀江・和気、波が穏やかなところで、イルカとか、そういった魚を連れてくるのではなくて、和気浜・堀江・粟井辺りに生息しているような小魚を、皆さんに見ていただくような観光の施設をぜひ。道後温泉も大事ですけれども、お湯ばかりではなくて、海の方も、やはり瀬戸内海でございまして、頑張っていたいただいたらなと思っていますが、いかがでしょうか。

【都市整備部副部長】 ご意見いただいたお話は、とても面白いアイデアだと思っています。ただ、その一方で、和気浜海岸は港湾区域内のため、海の上や砂浜に構造物を作ることは難しいと県の方からお聞きしています。まずは、法的に、そういったものを作ることが可能か

どうかなど、港湾区域を管理する愛媛県に、まずは確認したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

【市長】 お歌上手ですね。歌を作られているのは知っていたんですけど、上手だなと思って聴いていました。感心しておりました。雰囲気も和らげていただいて、ありがとうございます。

【男性】 集会所の修繕の件なんですけれども、今現在、集会所の設備の修繕等を行う場合に、修理代の総額の25%が、一応、地元負担と決められているんですけども、昨今、物価とか人件費の上昇等を考えると、修繕代の総額が上昇するというのは、これは自然だろうと考えています。当然その分、地元負担が増額される。施設の老朽化というのは、これは勝岡だけではなく、他の地区の集会所も同じような問題を抱えているんだろーと思えますけれども、やはり限られた予算の中で修繕を行うということなので、この地元負担率の軽減をすることができないのだからかという、一つの要望でございます。

【教育総務課長】 分館認定されている集会所につきましては、地元での分館活動を行いやすいように、地域の皆さんで管理運営を行っていただいています。松山市では、その分館活動を応援するために、分館からの申請に基づいて建物の修繕等を行っています。地元負担率という部分を軽減することは、現在難しい状況ではございますけれども、住民の皆さんにとって効果的な支援を行えるよう、優先事項を見極めながら、限られた財源を有効に活用していきたいと考えています。

【市長】 この場で、分かりました、では20%にしましょうと言えたら、私も楽なんですけど、それがちょっと言えなくて、良い返事ができなくて申し訳ありません。考えさせていただけたらと思います。分館でいいますと、和気公民館の大淵分館、老朽化が進んでいることから、地元から改築の要望を受けまして、今年度に改築することになっています。整備の内容などにつきましては、地元の要望をお伺いしながら計画しました。いよいよ本体工事は、来月6月末頃から始まりまして、10月の地方祭の前に完成の予定となっています。その後は、現在使用している分館を解体させていただくということになります。今日使わせていただいている和気公民館は、地区に一つある公民館本館という形になりまして、分館が、昨年度末時点で、確か300ぐらいあるんですよ。市内に336の分館がございます。先ほど言っていたように、地元の方に25%出していただいて、75%を松山市が出して、という形で、分館の改築を進めているという形なんですけれど、本当に、20%と言えたら私は楽なんですけど、それがちょっと、なかなか言えなくて。今の松山市で、将来に渡ってどうしても必要なのが、先ほど申し上げた和気小学校の長寿命化です。和気小学校がそうであるならば、松山市内には小学校53校、中学校29校あります。大体ですが、昭和50年代ぐらいの、日本の景気がとてもまだいい、右肩上がりで行進していくような時に建てられたものが多いように私は感じています。それがだいたい老朽化してきているので、いろんな公共施設に手を入れていかなきゃいけないという時期に入っていると感じます。それと、私た

ちはいずれ老います。みんな老います。最後のところですね、斎場。松山市の食場町にありますが、今、新しい斎場を建てるべく建築に向けて動いています。今の東京の事例としては、必ず人間お世話になるところですが、もういっぱい、10日ぐらい待たないといけないような事例もありまして、やはりこの斎場というのは、遅滞なく、遅くならないようにしっかりと建築していかなければならないと思っています。このように、公共施設がいろいろとお金が必要でして、限られた予算の中、皆さんの家計と一緒になんです。限られた予算の中で、何か使おうとしたら、どこかを削らないといけないので、そういう中でやりくりをしながら進んでいるという状況でございます。ご理解をいただけたらと思います。

【男性】 先ほどから和気海岸の話が出ていたので、これからの時期、特になんですけど、バーベキューをしに来る人がすごく多くなるんですね。来るのはいいんですけど、後がひどいです。無茶苦茶です。もうなんなら遊歩道も占拠をするような形で、ものすごく柄の悪い感じになっています。しかも、駐車場がないので、和気海岸の端から端まで縦列駐車がびっしりと、もう対面で通行できないような形なんですね。それがもう夏過ぎて、秋ぐらいまでずっと続きますので、ちょっとこの状況を改善していただけないかなと思ひまして。

【都市整備部副部長】 ご意見をいただきました和気浜海岸の管理は愛媛県になります。愛媛県の中予地方局に、こういったバーベキューの問題と駐車場の問題をお伝えしたところ、愛媛県では県内全域の海岸は、バーベキュー自体は禁止していませんとのこと。ただ、そのため、片付けやゴミの持ち帰りなど、利用マナーの向上を促す看板、今8カ所ほど設置していると思うんですけども、あと月に1回、職員によるゴミ回収やパトロールを行っていますが、今回、私たちから要望させていただいて、夏の間は月2回にパトロールの回数を増やすとお聞きしています。また、駐車問題は先月の4月に、通行の妨げにならないようにということで、全部で15カ所ほど、注意を促す看板を設置したほか、夏の間は警察と協力して、こちら先ほどと同様で、月1回を2回に増やす予定と聞いています。今回の要望を踏まえまして、私たちの方から、強く、県の方には、より一層パトロールを強化するようという形で要望したいと思っています。なお、松山市では平成23年1月に、和気浜海岸沿いにある和気浜緑地を整備した時に、松林などの自然環境を最大限に残しながら、皆さんがご利用できる駐車場スペースを、23台分なんですけれども確保していますので、こちらの方も利用していただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

【市長】 首を傾げていらっしゃるのも、多分、月2回では足りないということなのではなからうかと思いますが、どうぞ遠慮なく。それこそ今、管理は確かに愛媛県さんではあるのですが、ちょっと月2回にパトロールを増やしてもらったみたいやけど、現場を見て、とてとても、という状況だったら、愛媛県さんに言っていただいて。もし言いにくかったら、私たちに言っていただいたら、この間タウンミーティングがありましてね、愛媛県さん、月2回にさせていただけるということだったんだけど、現場を見ると、もう乱れているような状況だから、もうちょっと増やしていただけないか、というお話がありましたよと伝えること

ができますので、遠慮なく。これは縦割りと言いましょうか、セクショナリズムと言うか、県です市ですとかじゃなくて、私たちに言っていたら、県に繋ぐこともできますので、また遠慮なく言っていたらと思います。よろしくお願いします。私も、もうご存知の方も多いいと思いますが、実家は北条です。北条もやっぱりバーベキューとか、砂浜でします。ひどいなと思うのが、バーベキューの炭を砂浜に埋めて帰る人がいるんですよね。あれ、知らずに裸足で歩いたら、火傷しますよ。やっぱりマナーはすごく大事だと思います。ちなみにですけど、私、北条が実家と言いましたけれど、うちのばあさんは、和気の円明寺のそばの醤油屋の娘やって、和気がルーツですので、よろしくお願いします。ちょっと余談になりました。

【男性】 こんまい事ですけどね。勝岡町内から松山市の市道が山に1キロぐらい、総延長であるんですよ。その中間に、円明寺の奥の院もあるんです。平成2年から5年の間に、山火事が2件ほどあったんですよ。相中に、ちょっと50～60m、消防車が上がらん狭いところがあるのですが、そこをどうにかしてもらったら。市道ぐらいは消防車が上られるようにしてもらったらと思うんです。よろしくお願いします。

【市長】 私たちは8時半になってすぐにぱっと帰るのではなくて、地図も持ってきていますので、よかったら担当者のところで、この道を広げてほしいと場所をお伝えいただけたらと思います。ちょっと補足させていただきます。今日も現場を見てきたのですが、消防学校からちょっと入ったところに公園があって、その近くにちょっと細い道、市道和気1号線だったと思うんです。あそこはちょっと広げる計画があったのではないかな、和気1号線。公園の方からちょっと山側で、左側に溝があるところですかね。確か計画があったような。ちょっと私が繋いでおきます。今日は消防職員も来ていますが、道が細くても、消防車が入って行けなくても、ホースを伸ばすというやり方で、ある程度はできるんだとは聞いていますけれども、和気1号線については、ちょっと広げる計画があったと思います。

【都市整備部副部長】 お待たせしました。免許センターの、ちょっとだけ南側に行ったところの東西、その一部なんですけれども、そこを将来的に一部分、道を広げる予定はあります。ただ、先ほどの100mとなると、場所がちょっと違う可能性もあると思います。後で地図を用意していますので、また具体的にこことお伝え願います。先ほどの円明寺はちょっと場所が離れていると思いますので、また詳しく教えていただけたらと思います。要望書などがいるんですけど、こういった形をしていただけたらできますよ、という形を後ほどご説明させてもらったらと思いますので、大変申し訳ないですけど、よろしくお願いします。

【市長】 消防職員がいるので聞いてみます。消防車が入って行けない、道が細いところの火災はどうやって消しているんですか。

【危機管理課長】 ご説明させていただきます。実はその場所の火災の時、私は通信指令課にいましたので記憶しています。その時は、確かに上がらないので、消防団車両、消防団の車両が軽自動車なんです。軽のトラックタイプの車なので、それで上まで上がって、可搬ポ

ンプを中に置いて、下からホースを伸ばして行って中継して消したと記憶をしています。当然、車両が入れるのが一番なんですけれども、そういった車両が入れないところも、いろんなところがございますので、そういった場合には、可搬ポンプというのを中間に据えて、中継して行って水を出すことで消火活動をさせていただいています。

広報タイム②「AEDの使い方」

【女性】 これから高齢者が増えて、認知症の人が増えると思うんですけど、施設の充実と、それから職員の保障みたいなものを充実してほしいと思います。私は施設の職員で、グループホームに勤めているんですけど、徘徊している人を看るのは、本当に職員でも大変なので、家族だったらもっと大変だと思います。だから、もう少し、施設の充実と、市でも県でも保障ができるんだったら施設をもっと増やして、家族を安心させてあげてほしいと思います。

【市長】 認知症に対する施設を増やすこと、という認識でよろしいですか。

【長寿福祉課長】 認知症の関係の施設、例えば、グループホームですとか、もうちょっと介護度合いの高い特別養護老人ホーム、そういった施設がございますけれども、特にグループホームですと、松山市には120を超えるグループホームがございます。これは中核市でも3番ぐらいに入る施設の多さになっています。介護施設そのもので言いますと、1200を超える事業所がございますして、認知症を含めて、様々な介護の状況に対応できる施設は整っている状況です。もちろん、認知症の方が増える状況がございますので、やっぱり地域の皆さんでも認知症の方を支援していただくというようなこともあって、認知症サポーター養成講座というものを実施させていただいています。長寿福祉課にご連絡いただきましたら、10人ぐらいの単位でしたら、地域包括支援センターの職員などが集会所等に行かせていただいて、認知症の高齢者にどういった対応をすればいいとか、家庭で気をつけることなども講習ができますので、ぜひご利用をいただいたらと思います。それから、市内13カ所に地域包括支援センターがあるんですけども、地域の認知症の方を支援するために、チームオレンジというのを今、各包括に1カ所以上作ってしまして、認知症の方であったり、そういった家族の方を地域の事業者とか地域住民の皆さん、それから地域包括支援センターなどが一緒になって支えるような仕組みも作っています。今後も、認知症の高齢者の皆さんが地域で暮らしていけるように、取り組んでいきたいと考えています。

【男性】 最近のペット問題のことなんですけど。犬を飼われている方は、散歩をする時に、当然リードをつけて、フンなんかも袋に入れて取るようにして、丁寧な飼い方をされているんですけど、猫ですね。野良猫が多くて、よく外で所構わずおしっこする、うんちする。それはそれでいいんですけど、餌をやるだけの人がいるんですよ。飼い猫でない、野良猫が集まっているところへ行って、わざわざペットフードをやる。私も「餌やりよんか」と言ったら、「やっていない、見よるだけよ」とか言って、うまいこと逃げるんですけど。実は困

っているのが、猫が子どもを産んで、どんどん増えていく。私は太山寺なんですけど、何かのボランティアの方が避妊手術をしたと言っていたんです。避妊手術すれば、当然子どもは産まないようになるんですけど、その方が、地域猫として飼ってあげてくださいと。それはちょっと無責任じゃないかと思うんですよ。結局、猫は死ぬまでいるわけですよ。例えば、10年なら10年、数は減っていないんです。そういう言い方をされているから、実はもう、連れて帰ってくれた方がこちらとしてはありがたいですよ。だから市として、例えば猫のことについて、責任を持って飼ってください、家の中で飼ってくださいとか、そういう何か対応というか、広報活動は具体的に何かされていますか。

【長寿福祉課長】 野良猫等の対策についてなんですけれども、先ほどおっしゃっていただきましたように、野良猫が増える主な原因としては、やはり無責任な餌やり行為が挙げられます。ですので、餌やり行為をやっている方が特定できる場合は、本市の職員が個別に訪問して事実確認を行った上で、餌置きをしないことに加えて、トイレの管理とか不妊・去勢手術の実施について指導させていただいています。餌やりとか、猫の飼い方に関することなんですけれども、市のホームページに、猫の飼い方とか、ペットの糞尿の処理の仕方とかをご紹介させていただいています。不妊・去勢手術につきましても、1,500万円程度の予算を組んで、昨年度も非常に多くの方にご利用いただいて、地域の猫に不妊・去勢手術を行って、適正な数と言いますか、増えないような取り組みをしていただいている地域もあつたりします。地域猫活動という言い方をしている活動になるんですけども、今年、保健所の生活衛生課で、そういった取り組みを進めていくような話も聞いていますので、ご興味がありましたら、ぜひ保健所にご相談いただけたらと思います。

【市長】 私たちが子どもの頃は、野良犬という表現がありましたけれど、今、ほとんど野良犬はいないそうですね。ほとんどが猫です。確かに、おっしゃられたように、餌をあげている方がいらっしゃるので、そういう方がいたら、遠慮なく言っていただいたら、我々の方でそういうことをしないでくださいね、と申し上げることができます。今、松山市の総合公園に、「はびまるの丘」と言って、松山市の動物愛護センターを作りました。迷い猫などを引き取って、迷い犬もそうですけれども、飼い主がないワンちゃん、猫ちゃんについては、マッチングをして、飼いたい方に飼ってもらおうという、できるだけ不幸な動物をなくすというところでやっています。松山市では、犬の処分を令和2年からずっとしていないんですが、一頭でも不幸な猫ちゃんを出したくないので、そういうようなマッチングもしているところですよ。本当に、ちょっとこの餌やり困るんだよなということがありましたら、松山市の生活衛生課に言っていただいたら対処できますので、どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 先ほど、生活道のことについて言っていただきましたけれども、ちょっと大きな話になります。私も松山市北部の住民ですが、明屋書店の平田店の辺り、土曜日の午後とか日曜日の午後とか、ものすごく混みますよね。今、松山南署のところから外環状線をグーッと伸ばしてきてまして、松山空港の辺りまで松山外環状線が来ました。今、松山市では、松山

外環状線を松山空港のところから、平田町まで延ばしてもらえないかという要望を重ねておりまして、この度、計画段階評価に上がりました。ちょっと地図を見ていただいたらと思います。ここ、33号線の南署のところから、ずっと外環状線が伸びてきましたよね。56号線をまたいで、空港の方まで伸びてきました。環状ということは、輪っかになっているということですから、将来的には、11号線の方まで伸びていくんですが、輪っかになっていないですね。ですので、外環状線を延ばしてくださいということで、こちらの国土交通大臣に要望しているところです。こちらが公明党の山本博司先生、愛媛県の岸本参与、尾崎政務官、高知県知事だった方で私と同年ですね。こちらが塩崎代議士、私、尾崎政務官、山本順三先生、愛媛県の岸本参与。このように要望を重ねておりまして、今年4月に、計画段階評価に上がりました。完成はちょっと先にはなると思うんですけども、将来的には、この空港から平田町の方まで、北条へのバイパス、平田の坂のところまで伸びていく、計画段階評価に上がりましたよ、ということをお伝えをさせていただこうかと思います。将来的には、外環状線が平田の方まで伸びてくるんだよ、というお話になります。

【女性】 この地域に引っ越して来て、まだ2年の新米なんですけど。お世話になります。少子化のこと、子育て世代についてはなるんですが、今、妊娠して出産した後に、もらえるお金があるじゃないですか。あれがちょっと、値段が上がったけど、結局、産婦人科の病院さんたちも値段を上げてきてしまって、何か意味がないよね、みたいなことを、私たち世代がちょっと言っていたりとかして。もう本当に、ちょっとしたことなんですけど、何かそういうところで、今、私の世代、ママさん世代って、ちょっと働きに行きたいだったりとか、でも行けないだったりとか、いろんな問題がある中、どのような、いろいろ策が出ているのかなというのを教えてください。

【こどもえがお課長】 先ほどのご質問の部分は、出産子育て応援金という形で、妊娠された時と出産された時に、それぞれ5万円ずつ支給をさせていただいているところでございます。まず、今の支援としては、昨年度から新しく始めたもので、結婚される時に引越費用であったり、家賃を支給させていただく、結婚新生活支援事業を新しく始めさせていただきました。また、それに加えて、出産された世帯を対象に、いろいろな支援をしています。

【市長】 粉ミルクとかオムツなどの育児用品ですとか、時短とか家事の負担を減らす、省エネの家電製品の購入に対して、新生児1人につき20万円まで、結婚の時、出産の時、育児の時で、様々な支援をしています。

【こどもえがお課長】 昨年度から新たに始めた事業もございまして、いろいろ周知の方を努めさせていただいているところですので、ぜひ周囲にそういった方がいらっしゃいましたら、お伝えいただけたら大変ありがたいです。

【市長】 ちょっと最後に、お話をさせていただいたらと思います。実は、私は今度の夏で

57歳になるんですが、私の1つ上は丙午なんですよ。丙午の人って、これは江戸時代の八百屋お七の話から始まる迷信ですが、私の1つ上の方、丙午の女性は男性を食べてしまうという迷信がありまして、私の1つ上の世代の方は、確かに子どもの数が少ないんですよ。私は松山市立清水小学校だったんですが、私の時は7クラスまであったのに、1つ上の方は6組か5組までしかなかったんですよ。できるだけ分かりやすく喋りますね。1966年生まれの丙午の方が、一生に女性が産む子どもの数が1.58だったんです。でも、1989年、この時はちょうど昭和から平成になった時です。昭和天皇陛下が崩御なされた年です。その時の出生率が1.57だったんです。丙午の時よりも、子どもが産まれるのがまだ少なくなりましたね。この頃から、少子化が始まるぞと言われていたんですが、今、大体、出生率が1.2なんぼぐらいです、全国で言うと。ずっと下がり続けているんですよ。30年ぐらい前から少子化になる、少子化は静かなる危機だぞと言われていたんですけど、抜本的な対策が打たれなかったんだと思います。今はもう、やれることをとにかくやるということで、松山市でもライフステージに応じて、結婚の時、出産の時、育児の時ということで、できる限りの支援をさせていただいているところです。振り返って文句を言ってもしょうがないので、とにかくできることをやるんだということで、今、させていただいています。縮めの話にさせていただきます。市役所ですけれども、市民の皆さんの役に立つところで、市役所じゃないといけないと思っているんです。ですので、どうせ市役所に言ったって変わらない、ではなくて、どうぞ敷居を高くされないで、遠慮なく言っていただいたらと思います。皆さんの声を基に、政策は作っていくものだとは私は思っていますので、どうぞ遠慮なく言っていただいたらと思います。本当に、時間のことも気にいただいて、ちょうど1時間半になろうとしていますけれども、いろんなご意見をいただきました。これからも遠慮なく言っていただいたらと思います。今日、ちょっと手を挙げにくかったな、という方がいらっしやいましたら、市長へ直接意見が届くメールの制度もあります。また遠慮なく言っていただいたらと思います。ありがとうございました。

—了—